



**「老婆心」** 理事長 亀山伸一  
老婆は女性ですが、「老婆心」は男性も使っている言葉です。

「老婆心」は「お節介かもしれないが」という意味ですが、度を越した世話焼きは、かえって相手から遠ざけられます。ほどほどの加減なのでしょう。

とかく、悪きことは敏感に、良きことには気づかずに、日常生活を送っているものです。

歳をとると経験を重ねてきた自負心から、つい相手に意見を言ってしまう。

「老婆心」は、黙っていればいいものを、控えめながらつい干渉してしまいます。相手にとっては、それが「迷惑なこと。」とも知らずにです。

特に高齢になると、若者、年下の行動が気になり、つい一言言葉をはさみます。そのことが、若者や年下から煙たがられ、ついには距離を置かれてしまいます。

他人からは当然ですが、家族はもとより子供や孫からも、極端には無視されます。

相手を思いやって言ったことなのに、年寄りからすれば忠言、アドバイスのつもりが、逆に反発を持たれることがしばしばです。

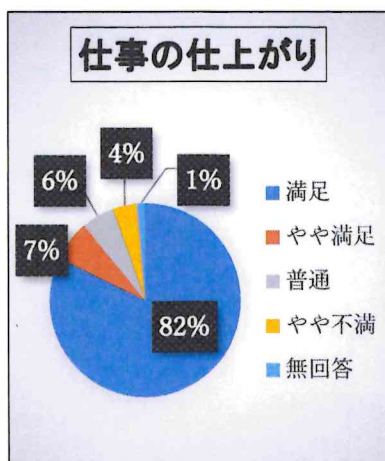
昔から年寄りが若者や年下に口をはさんで理解され、感謝されたことはあまりありません。

「老婆心」は、世間にとって有難迷惑のことなのか。

一方で「老婆心」がなくなったら、人生経験の伝授方法は、さてどうなることやら。

## 《顧客満足度調査分析》

毎年みなさんに顧客満足度調査報告をお送りしていますが、ご覧になったことはありますか？



新規で当シルバー人材センターをご利用いただいた100名のお客様にアンケートを実施し、それを集計したものが、顧客満足度調査報告です。

今回のシルバー通信にも同封していますので、目を通して下さいね。

過去3年分の顧客満足度調査が当センターホームページで閲覧できますので、合わせてそちらもご覧ください。

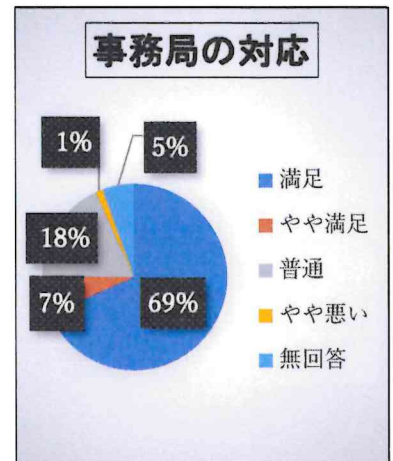
仕事の仕上がりはいかがでしたという設問に対して、満足、やや満足が89%。約9割の方が仕事の仕上がり満足されていることがわかります。

一生懸命に仕事をされた会員みなさんの努力の賜物だと思います。

しかし、やや不満を感じているお客様が4%程いますので、改善の余地はあると思います。

今年度は4%から3%、そして100%の方が満足していただいたと胸を張れる仕事を目指しましょう。

一方で、事務局の対応はいかがでしたか？という設問に対しては、満足、やや満足が76%。約8割のお客様が事務局の対応に満足されているという結果になりました。



シルバーの玄関口として、もっと

お客様から対応に満足していただけるよう、身の引き締まるような結果となり、役職員みんなで努力したいと考えております。

## 《顧客満足度調査より、お客様からの声》

直接お客様よりお言葉をいただいておりますので、ご紹介します。

### “畳の表替えを頼みました”

S様  
ていねいな仕上がりでした。感じのいい畳屋さんで、仕事に誇りを持って、キャリアを積んできた人だと感じました。多分もともと安い畳だから、繊維のほつれが何ヶ所かあって、静かに抜きました。今の所、気をつけて使っています。

玄関の上り口のタイル、剥がれた所があるのでその内シルバーさんに頼もうかと。

シルバーさん、頼りになる存在です！そうじゃないと、うちあたりは頼めません。頼むほうも希望とかを、きちんと伝えることも大事なことです。

あともう一つ・・・家にある昔の生地などで、ソーイング等もやってもらえると嬉しいです！

## “こんな仕事も”

T様

シルバー人材センターの仕事を一緒にしていた同僚と仕事終了後一息ついていたら、「自宅の物置の屋根がいたんだためセンターに修繕を依頼して直してもらった。」との話をされて、いたく気に入り感謝していたのを知り、自身も思いも寄らぬことに改めてセンターの幅のある作業内容に驚きを感じました。

専門の大工さんがいたんですね。みなさんにもっと周知したら良いと思います。



屋根の葺き替え工事

## 《仕事紹介コーナー》

これまで仕事紹介コーナーとして様々な方にお話を聞いてきましたが、シルバーにも職人さんがいるのをご存知ですか？それは例えば土木工事や塗装、襖・障子張り、畳工事などなど…今回は大工さんに着目し、ご紹介したいと思います。

## “シルバーの何でも屋さん”

事務所の倉庫で立派なまな板を作成している大工さんは、働き始めてから大工一筋だという吉田利雄さん。

福島で大工に弟子入りし、昭和 34 年に東京、そして昭和 45 年に石巻へ移り住んだそうです。

70 歳までプロの大工として働き、その後自分の技術を活かしたいと思い、平成 21 年にシルバー人材センターへ入会しました。



まな板加工作業中の吉田さん

写真の完成したまな板をご覧いただければお分かりかと思いますが、まさにプロの仕事だということがわかんと思います。



まな板加工作業終了 仕上げ完成

大工の仕事以外にも、塗装してほしいと言われれば綺麗に仕上げるし、トタンを少し直してと言われればプロ顔負けの出来栄え。「自宅のブロック積みは自分でやったんだよ。」と、まさに何でも屋さんです。

「歳を重ねてしまったけど、手足が動くうちは仕事をしたい。」と力強く話されていました。

## 《シルバー人材センター 会員インタビュー》

令和 5 年 3 月現在で、石巻市シルバー人材センターには夫婦で入会されている会員が 8 組、兄弟で入会されている会員が 5 組います。その中から 4 組の方々にインタビューしてきました。

## “まさかこの年で・・・”

定年退職してから何かすることがないかと思い、シルバー人材センターへ入会したという伊藤雄治さん。

健康のため、ちょっとした小遣い稼ぎ・・・気づけばシルバーに入って 9 年。未だに働かせてもらって、生活にメリハリがついて充実していると話します。



伊藤 雄治さん



菊田 修さん

弟の菊田修さんがシルバーへ入会したのは伊藤さんが入会してから約 2 年後。ある日、伊藤さんが働く「あしなが育英会」で人を補充してほしいとのことで、そうしたらまさかまさかの弟の菊田さんと働くことに。「兄弟だから一緒に仕事していて本当に楽しかったね。気兼ねなく仕事もお願いできるし。」と嬉しそうに菊田さんは話します。

人生で初めて兄弟で仕事をしたとのこと。今はコロナの影響で二人で仕事をするのではないそう

ですが、同じ職場に兄弟で仕事ができるって、素敵ですね。

### “草刈りならお任せあれ！”

石巻草刈り班の就業支援員として働いている鈴木浩一さん。震災前からシルバーに入会していて、主に草刈り作業や側溝清掃、伐採作業等の仕事をしています。どんな荒地も浩一さん達の班にかかれば見違えるほど綺麗になってしまいます。

ある日、弟の清二さんから連絡が。「シルバーに入ったがら。」と。浩一さんは弟の腕っぷしは知っているし、是非石巻草刈り班の仲間に入れてくれと事務局にお願いしたそうです。

それから共に仕事をするようになり、今日もお客様の期待通りに仕事を完了させてれています。

私生活でも仲が良いというお二人。これからも仲良く仕事に従事して下さいね。



鈴木 浩一さん



鈴木 清二さん

### “夫婦仲の良さが仕事につながっています”

入会してから 10 年、除草作業や清掃作業で活躍している阿部実さん。

転職が訪れたのは 4 年ほど前。一緒にいつも仕事をしていた相棒が、退会してしまったので、奥様のかつ子さんにシルバー人材への入会を勧めたそうです。

入会してからは共に仕事をするようになり、結婚して 50 年が経つ今では、見なくても、かつさんがどこまで仕事を終えたかわかるといいます。

まさに夫婦中の良さが仕事につながっているそうです。

仕事がない日は趣味に没頭したり、充実した日々を過ごすことができているとのことでした。



阿部 かつ子さん



阿部 実さん

### “仕事ができる喜び”

平成 23 年に入会した奥田ゆみ子さん。

かれこれ 10 年以上になりますが、主な仕事は清掃作業。仕事を続けてきたから今まで健康でいられたとニコリ。

旦那さんの隆次さんにシルバーへの入会を勧めたのも健康につながるから。

船での作業を終えて、家にいるとどうしても退屈しがち。今はシルバー派遣で仕事をしているから生活にメリハリがついて充実しているんだそうです。

報告書を出しに夫婦で来所される姿がとても印象的でした。



代表的な 10 月の花：花桃（ハナモモ）



全般の花言葉：「チャーミング」「氣立ての良さ」「私はあなたのとりこ」「天下無敵」です。「チャーミング」「氣立ての良さ」の由来は、桃が女性への敬いの象徴のためです。

### 【旧暦の月・和風月名】

■4月・卯月[うづき]

■5月・皐月[さつき]

■6月・水無月[みなづき]

●4月：29日(土) 昭和の日(昭和の天皇誕生日)

●5月：1日(月) メーデー、3日(水) 憲法記念日

4日(木) みどりの日、5日(金) こどもの日

6日(土) 立夏、14日(日) 母の日

●6月：11日(日) 入梅、18日(日) 父の日

21日(水) 夏至



チエブクロ

### 雑学・コラム

#### ～情報満載、会員相互の絆・仲間づくりの活性剤～

副理事長 大野 武

広報誌はシルバー人材センター設立総会昭和 63 年 7 月、同年 12 月 1 日に第 1 号を初代局長さんの手書きで発行されてから 35 周年が経ち令和 5 年 4 月号で第 100 号発行となりました。

今はパソコンで自由自在に編集、沢山の情報が掲載できるようになりその変遷に歴史を痛感します。これまで発行に専念された関係者に厚く感謝申し上げます。

さて、センター設立後の年号が昭和から平成、令和と時勢の中、第100号の節目を契機に、過去を振り返り、今後の広報誌の在り方について確認することに大きな意義があると思います。奇しくも再度広報委員を担っていますので、3.11東日本大震災で紛失した広報誌を除き、第100号記念特集号に関連事項を付け加えて「たった一冊のシルバー通信」を製本完成させたいと思います。

シルバー通信は、センター事業や会員の活動など情報や知恵が多種多様な内容の詰まった“宝物”となります。

製本の段階で内容把握にかなりの日数と時間を要しましたが、不思議な事に何の抵抗も無く最後までやり遂げそのネバリに我ながら感心しました。

自分が携わった「安全委員会」、「広報委員会」等々アルバムの紙面毎に思い浮かび微力ながらセンター業務の一部に貢献出来たことに安堵しました。

そこで、持続せねばならぬ広報誌101号へと発行されますが、その役割について『基本三確』（三つの確認）を提唱します。一つ目：皆さんにセンター事業・情報、各専門委員会の動向報告、会員の活動・活躍状況を伝える“コミュニケーションの潤滑油”の役割が在ることの確認。二つ目：皆さんが寄稿された話題等を“会員相互の絆・仲間づくりの橋渡しする”役割を果たすことにある確認。三つ目：センター全体の共有物であり、広報誌づくりに“誰でも気楽に投稿できる受け入れ態勢・環境づくり”をすることの確認。以上の三確を念頭に内容の充実を図った編集をお願いします。

これまで諸先輩が積み重ねてきた「シルバー通信」が、後々まで沢山の“宝物”を積込んで順風満帆な刊行の遂行をお祈りいたします。

## 賢人たちの食術

### 健康のための極意

#### 「頭脳は明晰だがひ弱な三成」

豊臣秀吉に小姓として仕官し五奉行までの重臣まで登りつめた石田三成。「関ヶ原の戦い」で戦い敗れ敗戦の将として処刑されましたが知力の勇は豪傑型の武将ではなかったようです。

華奢な体で「肉体的にはひ弱な男子」でスタミナのない神経質だったため、しょっちゅうおなかを壊していたようです。

武将として、政治的指導を行い戦いの指揮も執るといふ「頭脳型」の光成にとってストレスが多く腹が下ったと言えます。「恥の文化」に生きる武将として大便の粗そうはあるまじき行為と苦心したようです。

ニラは三成にスタミナと「名誉ある生き様」を与えました。



ニラは胃腸の働きを整え血行を良くし体を温める効果があり、古くから消化不良や冷え性対策に用いられていました。

緑の葉の部分にはビタミンCがあり、香り成分の硫化アリルがビタミンB1の吸収を助け糖質の分解を促進させます。

このニラの有用性を熟知していた石田三成にとって「なくてはならない食物」だったようです。

41歳で処刑された石田三成は食事上手だったので平和の世であったなら100歳までも生きられたかも。

乱世でない今、食物で命を守りましょう。

(広報委員 櫻井 正)

## 私の趣味



当センター理事である“和田實”さんの絵画が中国料理「揚子江」に展示されています！



お食事に行った際はどうぞご覧ください。



■今年は雪も降らず暖かい冬だと思っていたら突然氷点下の寒い日が続くようになり、降らないと思っていたら、雪が「ドカツ」と15センチも積もる大雪になりました。

寒いと暖房は一日中使うようになり電気料金表を見てびっくり、昨年より二万円も上がっています。これでは駄目だと思い幾らかでも節電をしようと電気の点けっぱなしは消して歩く。風呂上りは早めに布団に入る。日中は日があたれば暖房は直ぐ消す。など心掛けています。

4月からまた電気料金が、5月からは水道料も上がるそうです。

どんな節約をしたらいいでしょう。

(広報委員 阿部 明子)

